

すべての「子ども」と おとなが、
この社会を信頼できる社会に！

「私たちの未来」を私たちの手で
～あらゆる人々の参画によって～

2万人の雇用創出／地域再生プラン

子ども・教育部会

おかしな国「日本」、壊れている「日本」を直視しよう！！

- ① 婚活問題～出産リスク～超少子高齢社会へ突進
- ② ワークライフバランス～待機児童問題
- ③ 育児力の低下～シングル子育て・孤立した子育て
- ④ いじめ・不登校127000・自殺～「教育」を選択できない国
- ⑤ 貧困～ネグレクト～虐待相談37000～被虐待児支援里親不足
- ⑥ 障害者の支援・学習困難支援・子どもの人権教育・性教育
- ⑦ 入院病児1200万人のQOLと家庭支援～長期入院から復帰困難
- ⑧ 就職困難・ニート・自殺者が毎年3万
- ⑨ 一方、これらの課題を解決する側の問題も深刻。

地域教育力の低下・保育士の不足・保護施設の人員逼迫、
教員の心の破綻、コスト縮減と過重労働～質の低下リスク

子どもは諦め、親はクレーマーに、職員はバーンアウトし、NPOは疲弊し、世界は沈黙する

この社会で「子どもが生きていく」ということを
角度を変え、事態を見通すと・・・

子どもが育つ20年間、
子どもも親も、
子どもに関わる人々も、
相互の信頼を喪失していく、
そういう制度と仕組み、
社会に晒されている。
全てのこどもたちが、です。

その結果、致命的な事態が――

- ① この社会で誕生し、社会を担っていく子どもが、社会と世界に対する信頼と希望を喪失し、強い自己保身の哲学を体験的に学習していく。
- ② 助け合わない、助け合えない、ヘルプを発信できない、隣人に声をかけられない。「人は信用してはいけないもの」
- ③ 「勝ち組」になる以外、人生に、生きる道筋も希望も見いだせない社会・・・。

「公共」を喪失する国「日本」は危機的、対症療法の限界です。

原因は何か？・・・答えは簡単

●21世紀、グローバリゼーションが薦進する世界
社会環境も、価値軸も、大きく変容

現代に求められるのは豊かな人格形成。
「子どもの人権」保障が不可欠

なぜなら！

育てられた「子ども」が、この社会の公共を担っていく。

「子どもの人権」保障 = 個人と社会の契約基盤。
世界に対する「信頼と情熱」の原動力。

しかし「日本」は—

民衆のシステム

子どもが「社会」に参画し、多様な生き方と関わるプロセスは消滅
社会制度は、明治以来、戦後以来の「封建的制度」

結果

「子どもの権利」が保障されず、
お金も、手間もかけない、人権後進国となっている。

地域コミュニティの再生と 「子どもの人権」を保障する社会に

子どもと大人が育ち合い
「信頼」と「新しい公共」力を獲得する環境を

普遍的・永続的に、維持発展させる
市民が参画する国家プロジェクト

個人や、グループや、家庭や、学校や、行政、国だけでは、構築不能です。

だから、現状が生じていることを直視し、

国の制度として、人が育ち合える基盤を確立し、保障することこそが現状を打ち破るカギ！

未来を託す子どもと大人の育ち合い 「子どもコミュニティ・スーパーPlatform」とは 「日本」という国が 世界に生き残るためのチェンジプロジェクト

全ての小学校区に、地域コミュニティ再生拠点ハードとソフトの設置
コーディネーターの配置
そして、プラットフォームを繋ぐ骨太な
情報・サポートの全国ネットワーク・インフラを整備

市民が中心となり、多様な子育て支援グループ、学校、専門家、生活者、
子どもに関わる全てのネットワークが連携し、
多様なチャンネルとチャレンジを可能にする
全て、実証済みのプログラムです！
後は、実行するのみ！

NPOに関わるみなさん一人ひとりが、一人の大人として
子どもと直に向き合い、参画することが、現状を変えます。
みなさんの知恵を貸してください！

文部科学省のみなさん、厚生労働省のみなさん、財務省のみなさん！！
政府、官僚の皆さん、地方政府のみなさん、
あなたの勇気と知恵、あなた自身の手で、
日本の未来を変えましょう！

私たち**子ども・教育部会**は、連帯を求めていきます！
世界中の子どもたちが、
私たちの決断を待っています！